事業所理念	心身の発達に遅れや心配がある又は障がいのあるこども(以下「こども」という)たちが意欲的に遊ぶ力を育み、家族とともにのびのびと育ち合い、地域で安心して暮らせるように支援する。		
支援方針	日常生活における基本的な動作の習得や集団生活への適応などの支援をこどもの発達状況および置かれている環境に応じて支援する。保健、福祉、教育などの各分野及び医療機関とも連携し、こどもとその家族が抱える悩みや困りごとに寄り添った適切な発達相談支援や、家族支援を行う。		
営業時間	9 : 00 ~ 17 : 00	送迎実施の有無	一部実施 (あらゆる送迎が困難な方で、かつセンターが対応可能な場合のみ)
支援内容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的な通所や療育活動の中で、発達や身体の特徴、健康状況などの観察、聞き取りを丁寧に行い、生活リズムの改善や習慣化を支援したり、家庭でも活かしてもらえるような情報提供や相談を行います。 ○療育の中で排泄や衣服の着替えなど日常的な動作について、こども個々の障がいや発達特性に応じた支援を行います。特に、こどもが取り組みやすいよう環境調整したり、伝え方を工夫する、実物や写真を提示する等を行います。また必要に応じて専門職種が動作の確認を行い、どのようにすれば行いやすくなるか、習得できるかなどを保護者、関係者と検討します。 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ○身体を大きく動かすような運動遊び(トランポリンやバランスボール、ブランコ、乗り物、サーキット等)、物や環境に合わせた身体や道具の使い方、力加減やバランスの取り方を体験できるように支援します。また、こどもの感覚や身体の特徴に合わせた環境調整、姿勢保持や移動などが行いやすくなるような補助的な用具を活用できるように支援します。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ○こども一人一人の認知の特性を評価・理解して、その特性に合わせた環境調整や関わり方等、家庭や集団生活の中での具体的な支援方法を提案します。 ○具体的な物や絵カードを使った課題、プリント学習、感覚を活用する運動等の活動を通して、数の操作、形、長さ、大きさ、時間などの概念が学べるよう支援します。 ○スケジュールの視覚化、環境の構造化を取り入れ、誰にでもわかりやすい活動空間にすることで、適切な行動を促すよう支援します。 	
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ○自分のしたいことを伝える、手伝ってほしいときに援助を求めるなど、自分自身を大切にするために必要な行動を、適切な場面で発揮できるよう支援します。 ○こどもの特徴やニーズに応じて、言語によるコミュニケーションに加え、指差し、ジェスチャー、絵カード、なども含めた非言語コミュニケーションも活用します。 ○構音訓練や語彙の拡大、文章表現の向上等に取り組み、伝えたいことがより伝わりやすくなるよう支援します。 ○プリント学習等を通して、文字で表したり、文字を読んで理解したりする力がつくよう支援します。 	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ○順番・ルールを守る、他者と協力する、失敗や負けを受け入れるといった、他者と一緒に生活していくために必要なスキルを身につけられるよう支援します。 ○トークンシステムの導入などで自己コントロールができるよう支援します。 	
保育所等訪問支援	<ul style="list-style-type: none"> ○こどもが生活している学校等の生活の場に訪問し、集団生活への適応を目的に運動・感覚・認知の特性、コミュニケーションの取り方、他者とのかかわり方等、こどもの特性に応じた個別対応方法や環境調整、支援者の関わり方について園などと共有・検討・提案します。 		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ○成長・発達・身体状況などについての心配事や家族の子育てに関する困りごと、成長の共感などに対し、面談や療育後の説明、相談対応を行います。 ○保護者同士のつながりや情報交換、交流を深められるよう保護者交流会や学びの機会の提供を兼ねた学習会等を実施します。 		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の観察、またセンターへの見学等を通して支援にかかる情報共有や共通理解を図ることで、障がい特性を踏まえた一貫した支援に努めます。 ○こどもに関わる地域の関係機関(保健・医療・福祉・教育)と連携します。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ○進学・就労等のライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた支援を行います。 ○就園・就学の際にはこれまでの支援の経過や通所児童の発達状況を必要に応じて共有、引継ぎし、継続した支援ができるように心がけます。
職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○研修会・学会への参加や資格取得の奨励 ○施設内での月1回以上の研修機会の創出、事例検討会の実施 ○こども・福祉事業所関係機関との会議や研修への参加 ○関係医療機関との連携や同行受診、リハビリの見学 	主な行事	<ul style="list-style-type: none"> ○避難訓練